

主催:特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会

後援:厚生労働省(申請中) / 協力:一般社団法人宮城·仙台障害者相談支援従事者協会

開催趣旨

新型コロナウィルス感染が先の見えない状況の中で、相談支援専門員の本来の役割である障害のある方々との丁寧な関りに制限が求められる中で、役割の遂行とともに一人ひとりの力量も試される時期でもあろうと思われます。

このような中で改めて基本相談の重要性を学ぶ機会を持つこと、原点に立ち返りつつスキルアップを図りながら歩みを進めていく必要があろうと思います。新たな生活様式が求められる中での相談 支援の役割や関りの重要性を皆様と共に学びたいと考えております。

今回のテーマは「緊急事態宣言~問われる日頃の相談支援の積み重ね~」として開催いたします。新たな研修の形として、会場に足を運んでいただく形の他、オンデマンドによる映像配信で受講いただく形の2つの受講方法を選択いただいての開催となります。

開催概要

対象: 相談支援専門員、障害者の相談支援に従事する方、都道府県・市町村の障害者相談支援担当 部署職員など、障害者の相談支援に関心のある方ならどなたでも参加できます。

定員: 会場受講者 100名(2日間)

オンデマンドによる映像配信受講者(1日目のみ配信) 定員なし

- ※1 申し込みは、それぞれ先着順とさせて頂き、定員になり次第締め切ります。
- ※2 新型コロナウィルス感染拡大によっては研修を中止とする場合がございます。
- 参加費: ①会場受講者 会員5,000円(2日間)、非会員6,000円(2日間) ②映像配信受講者 会員2,000円(1日目のみ)、非会員3,000円(1日目のみ)
 - ※1 今年度の参加費につきましては、新型コロナウィルス感染拡大に伴う特例として取り扱う安価設定でご案内させていただきます。
 - ※2 当日の映像ライブ配信はございません。 映像配信期間は、12月12日~1月11日までを予定しております。映像配信お申し込 みの方には別途視聴用パスワードをメールでお知らせいたします。
- 申込み: 2020年10月下旬に日本相談支援専門員協会ホームページ(<a href="http://nsk09.org/)にて申し込みを開始いたします。定員となり次第〆切とさせていただきます(当協会ホームページにてお知らせ致します)。
- 問合せ先: 日本相談支援専門員協会 e-mail:<u>office@nsk09.org</u>までお寄せ下さい。 ※専従の職員を配置しておりませんので、e-mailによりご連絡下さい。
- 注意事項: 原則、参加費お支払い後のキャンセルにつきましては料金のご返金は致しません。 新型コロナウィルス感染拡大等により中止とさせていただく場合がございます が、その場合は日本相談支援専門員協会ホームページにてお知らせいたします のでご確認下さい。
 - ※車椅子をご利用になる場合は、お申し込みの際、介助者の有無も含めて事前に お知らせ下さい。

お申し込み方法及びご請求について:

1)お申込み方法: web 申し込みに必要事項をご記入の上お申し込みをお願い致します。

2)お申し込み締め切り日: 2020年11月23日(月・祝)

3)参加費のお支払方法 : web 申し込みサイト内「お支払方法について」をご参照下さい。「クレジッ

トカード決済」「コンビニ決済」「ペイジー決済」からお選びいただけます。

※振込手数料(220円)は申込者ご負担にてお願い致します。

開催スケジュール(※下記スケジュールは変更が生じる場合がございます)

【12月4日(金)】

時間	内容	
9:30~	受付開始	
10:00~	開会·挨拶	特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会代表理事
10:15~11:45		「報酬改定に向けた検討状況とこれからの相談支援」
	行政説明 	講師:厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課
10 15 11 15		地域生活支援推進室室長 河村 のり子 氏
12:45~14:45	基調講演 I	令和元年度 厚生労働省 障害者総合福祉推進事業 報告
		「避難行動要支援者に対する個別計画作成における計画相談
		支援事業者等の協力に関する調査・研究」(障害者に対する災
		害時支援体制の実態)
		「平時に備える グッドプラクティスクから見る福祉と防災」
		講師 : 同志社大学教授 立木 茂雄 氏
15:00~16:00	基調講演Ⅱ	「津久井やまゆり園再建構想とその取り組み」
		講師 : 和泉短期大学教授 鈴木 敏彦 氏
16:10~17:40	シンポジウム	「津久井やまゆり園における意思決定支援の 3 年間の軌跡~
		意思決定支援専門アドバイザーとして参画して~」
		進行·助言者 : 和泉短期大学教授 鈴木 敏彦 氏
		シンポジスト: かながわ障がいケアマネジメント従事者ネット
		ワーク相談役 冨岡 貴生 氏
		かながわ障がいケアマネジメント従事者ネット
		ワーク理事 小川 陽 氏
		① 挨拶・シンポジウムの目的の説明・意思決定支援専門アド
		バイザーが果たしてきた役割
		②実践報告1「意思決定支援の展開の中で抑えるべき視点」
		③実践報告2「意思決定支援における支援チームの重要性」
		④フリーディスカッション
17:40~18:00	事務連絡·終了	

【12月5日(土)】

9:15~	開場	
9:30~15:00	開会	
	選択講座①「アセスメント技術」	選択講座②
	講師:埼玉県立精神保健福祉センター	「その時、試される~有事を見据えた
	精神保健福祉部長兼地域支援	相談支援の在り方~」
	担当主幹 広沢 昇 氏	講師:日本相談支援専門員協会政策
		委員会
15:00~	終了	

新型コロナウィルス感染予防対策(お願い)

- ① 受講当日は体調をご確認の上お越しいただきますようお願いいたします。体調不良(発熱、咳等の風邪症状)の方及び、研修当日より過去 14 日以内に新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触や、身近な知人の感染が疑われる場合は受講をお控え下さい。
- ②発熱・咳等の症状がみられる方は、来場をお控え下さい。
- ③受講中に体調の不調を感じた際は、お早めにお申し出下さい。
- ④研修会参加時には、うがい、手洗い、マスク着用の励行をお願い致します。
- ⑤研修会開催中は会場内の換気等対策を適時行いますので、衣類の準備(防寒対策)をお願い致します。
- ⑥今後の新型コロナウィルス感染拡大等によりやむなく中止する場合は、当会ホームページにてお知らせいたします。
- ⑦万が一感染者や感染疑いがある者が発生した場合に、保健所等に受講者の情報(氏名、住所等)を 提供する場合があります。
- ⑧会場参加の方のうち、研修終了後 2 週間以内に新型コロナウィルス感染症の陽性反応を示した時、 または濃厚接触者として観察対象となったときは当会事務局へ速やかにお知らせ下さい。

皆様の健康と安全確保のための対策となりますので、ご理解頂きます様、お願い致します。

研修会場

1日目·12月4日(金)

会場: エル・パーク仙台 ギャラリーホール

住所 : 〒980-8555 宮城県仙台市青葉区一番町 4-11-1

141 ビル(仙台三越定禅寺通り館)5階・6階

アクセス:【JR仙台駅から】

地下鉄利用の場合 仙台市営地下鉄南北線「勾当台公園駅」下車(南1番出口より地下道で連結)

バス利用の場合 「商工会議所前」または「定禅寺通市役所前」下車



2日目・12月5日(土)

会場: 東京エレクトロンホール宮城 601・602室 住所: 〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-3-7

アクセス:【JR仙台駅から】

地下鉄利用の場合 仙台市営地下鉄南北線泉中央方面乗車→ 勾当台公園駅下車→

出口「公園2」から徒歩300メートル(所要時間約5分)

バス利用の場合 仙台市営バス、JR 仙台駅西口 60 番乗り場から、定禅寺通り市役所前経

由交通局大学病院行き乗車→定禅寺通市役所前下車(所要時間約12分)

